

THE SHINKANSEN MAIL NEWS



JR東日本輸送サービス労働組合
新幹線地方本部

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2025.12.24 No. 018

専5号

新幹線による荷物輸送に関する申し入れ

団体交渉開催 その1

冒頭 会社回答が示された時期が遅いこと、またプレス発表前に団体交渉の開催を要請したのにも関わらず 同日ではあるが交渉前にプレスされたことは『労働組合軽視』であることを強く指摘！

共通

1. 施策の目的を明らかにし、荷物輸送専用新幹線の施策開始日を具体的に明らかにすること。また、施策開始日までに変更点などについて社員説明を行うこと。

(回答) 荷物専用車両を活用した高速・大口荷物輸送を実現することで、社会的課題の解決をめざすものであり 2026年3月23日から運行を開始する予定としている。今後、変更点等が発生した際には、必要に応じて関係社員にお知らせしていく。

組合

- 高速大口輸送を実現とは何か。
- 需要があるということは、多くの収益を見込んでいるのか。
- 施策開始日が3月23日だが根拠は。
- 改造する編成と内容、車内以外の改進はあるか。
- 社員説明は施策開始前にするのか。
- 荷物輸送と旅客輸送の違いは、人と荷物の違いなのか。
- 検修社員にも見てもらうとあるが、各車両センターの検修社員が代表して見にいくこともあるのか。

会社

- これまでの新幹線を使った荷物輸送では限られた両数でしか輸送ができず、形状にも限りがあった。需要もありもっと多く運べないかという課題がありその課題解決のため荷物輸送専用の新幹線E3系を改造し使用することになった。
- ある程度の収益は見込めると考えている。
- 当該のE3系の車両改造を行い、関係社員へのオペレーション、訓練を行い、検査をする社員にも見てもらう期間を設けて設定した。
- 編成はL69、改修内容は座席の撤去、客室内に鉄板を敷いて滑り止めの加工を行う。荷物専用新幹線なので旅客が誤乗防止のためにドアが開かないためのスイッチを付ける。
- 具体的には示せないが、施策開始前に一般社員に対して説明は実施する。
- 荷物を積む専用新幹線のため、旅客の新幹線ではないという認識だ。
- 車両を見てもらう機会は設ける。

2. 荷物輸送専用新幹線のダイヤおよび車両運用がどのようになるのか明らかにすること。

(回答) 現時点では、「やまびこ号」に併結し荷物専用新幹線を運転する計画である。午前中に盛岡新幹線車両センターで荷物を積込み、午後に東京新幹線車両センターで荷下ろしを行う計画である。

組合

- 基本的に併結運転ということか。
- 列車ダイヤや車両運用について具体的に示せないか。
- 上り盛岡から運転を行い、その後の運用はどうなるのか。

会社

- E3系は基本的に単独運転はしないのでE5系と併結して運転を行う。
- 具体的に示せないが、やまびこ号は正午前に盛岡新幹線車両センターを発車し16時前に東京新幹線車両センターに到着とプレス発表している。
- 盛幹セで荷物を積み、東幹セで荷物を降ろす。その後は下りの旅客列車に充当し、最後は仙台に帰る計画だ。

3. 車両故障などにより輸送障害が発生した場合はどのように対応するのか明らかにし、リスク管理を徹底すること。

(回答) 輸送障害発生時には関係箇所等が連携し対応を行う考えである。

組合

- 運行中の当該列車で輸送障害が発生した場合、どのようなリスクを想定して対応するか。
- 夏季に車両の空調が故障し、長時間停車した場合、生鮮食品が傷むリスク等荷物を他の車両に積み替えるなど想定しているか。
- どのような荷物を載せるのか。危険物やテロ等も想定しているか。
- 現状、大口輸送時ホームでの安全対策は。
- 走行中、ドア故障が発生した場合の取り扱いは。また誰が確認するか。

会社

- 現時点では荷物を積み下ろす場所は東幹セ以外は考えていない。途中のトラブルについてはこれまで通り指令を含めた対応になる。
- 想定はしているが、リスクに対して途中駅で荷物の積み替えることは考えていない。
- 基本的には法人向けの輸送だが、個人向けもプレスはしている。もちろん火器や危険物の持ち込みは禁止だ。不審物等見つかった場合の対応はこれまでと変わらない。
- 把握していない。
- これまで通りの取り扱いとなる。荷物輸送のためにドアを改造するものではない。現行の回送列車でドア故障が発生し閉まらない状態の処置と同じだ。

その2へ